

平成 24 年度予算概要の説明

予算は「資金収支予算書」及び「消費収支予算書」の 2 種類により報告いたします。

「資金収支予算書」は、平成 24 年度に発生するすべての収入と支出の予算額を、補正予算と当初予算を対比して記載したものです。

「消費収支予算書」は、平成 24 年度に発生する消費収入と消費支出の予算額を、補正予算と当初予算を対比して記載するもので、学校法人大正大学の経営状態を明らかにする計算書類です。

なお、キャンパス総合整備にかかる支出については、別途資料で報告いたします。

1. 資金収入の部

- i) 学生生徒等納付金収入は 41 億 9,871 万 1,000 円、前年度比 1 億 8,704 万 6,900 円増。

主な理由は

表現文化学科・臨床心理学科・歴史学科合わせて 120 名の定員増により、
新入生分の学納金を増額としたためです。

- ii) 手数料収入は 1 億 4,871 万円、前年度比 31 万 2,000 円減。

前年度より微減となっております。

- iii) 寄付金収入 10 億 1,904 万円、前年度比 3 億 3,879 万円増。

平成 24 年度は 90 周年勧募活動を積極的に行うため、希望的要素を含めて計上いたしました。

主な寄付金の内訳は以下の通りです。

宗団（設立宗団 4 宗×5,000 万円）	2 億円
ティー・マップ（経常的経費に対する寄付金）	8,000 万円
新入生父母（教育振興充実寄付金）	1,200 万円
父母会（父母会支給の奨学金他）より	1,530 万円
課外活動充実寄付金	1,000 万円
時宗からの経常的経費に対する寄付金	600 万円
浄土宗子弟教育支援寄付金	500 万円
鴨台会（基金）	1 億 5,000 万円
90 周年記念勧募事業	5 億円

- iv) 補助金収入 5 億 200 万円は、前年度比 5,751 万 6,000 円減。

主な補助金は以下の通りです。

経常費補助金	5 億円
学術研究振興資金	170 万円

- v) 資産運用収入 3,870 万 6,000 円で前年度比 470 万 6,000 円増。

学内施設の利用料をこれまで事業収入で計上していたものを、本来の科目である施設設備利用料収入で計上分 670 万円増。

受取利息収入は、新規運用社債の利率低下の影響により 2 百万円減。

- vi) 事業収入 610 万円は、前年度比 479 万 9,000 円減。
事業収入から資産運用収入に移行したことに伴う減が影響しています。
主な事業収入は以下の通りです。
- | | |
|-------------------------|------------|
| 出版会 | 130 万円 |
| 教員免許状更新講習料 | 193 万 2 千円 |
| その他の事業収入 (カウンセリング面談料など) | 226 万 8 千円 |
- vii) 雑収入 9,909 万 7,000 円は、前年度比約 2,177 万 3,557 円増。
主な雑収入は以下の通りです。
- | | |
|----------|--------------|
| 退職金財団交付金 | 8,989 万 7 千円 |
|----------|--------------|
- viii) 前受金収入 10 億 1,200 万円は、前年度と同額。
- ix) その他の収入 13 億 7,001 万円は、前年度比 9 億 6,150 万 8,488 円減
この収入は、退職金、建築費、或いは社債満期元金償還金等を各引当特定預金・
資産からの振替繰入を行うものであり、学校の諸活動による実収入ではありません。
- x) 資金収入調整勘定は、今期の未収入金及び前期に受け入れた金額 (前受金) の本
年度において資金の受入が無い資金の控除調整科目です。
- | | |
|--------------------------|---------------|
| 期末未収入金は | 8,000 万円 |
| 前期末前受金は前年度予算の前受金収入予算と同額の | 10 億 1,200 万円 |
- xi) 前年度繰越支払資金は、前年度予算の次年度繰越支払資金と同額の 12 億 5,669
万 9,188 円

以上、収入の部合計は 95 億 5,907 万 3,188 円となり、前年度比 3 億 3,540 万 835 円減となりました。

2. 資金支出の概要

- i) 人件費支出 27 億 3,368 万 7,100 円は、前年度比 1 億 3 万 1,880 円の増となりました。
- 内訳)
- 教員人件費は前年度比 4,235 万 6 千円の増額となります。
例年当初予算時には想定される最大の金額を計上したため、このような大幅な増額となりました。ちなみに平成 23 年度当初予算比では 1,642 万 7 千円の減額となります。
- 職員人件費は前年度比 2,220 万 8,980 円の増額となります。
業務支援室のスタッフを昨年度 7 月より直接雇用にしたことに伴い、平成 24 年度は 1 年分の人件費計上となったこと、及び、業務支援室所属スタッフを 1 名増員したことによる増額が主な理由です。
- 役員報酬は前年度比 534 万円の増額となります。
これは教員人件費同様に、当初予算では想定される最大の金額を計上したためです。

退職金支出は、平成 24 年度退職予定者（教員 7 名、職員 1 名）で計上しております。

- ii) 教育研究経費 13 億 1,192 万 9,396 円は、前年度比 1 億 4,460 万 2,808 円増となりました。
前年度予算との増減が 500 万円を超えるものについて主な理由を報告します。

【500 万円以上増額】

◎消耗品費	1,214 万 2,421 円増額	
・危機管理に伴う防災・避難グッズ購入		210 万 7,200 円
・マルチメディア教育機器の整備		938 万 1,104 円
(Mac ソフト・OS バージョンアップ・新 3 号館オープンスペース授業用ソフト追加)		
◎光熱水費	3,677 万円増額	
・新 3 号館分の光熱水費の増額、及び電気代 17%値上げに伴う対応。		
◎修繕費	699 万 1,157 円増額	
・新 3 号館ネットワーク増設に伴う保守		672 万 1,855 円
◎研究費支出	1,301 万 901 円増額	
・学内競争的研究費の申請増分		768 万円
・教員増による個人研究費増額分		185 万円
・総合佛教研究所出版助成増額分		100 万円
・カウンセリング研究所研究活動増額分		260 万円
◎実験実習費支出	2,672 万 566 円増額	
・ゼミ合宿奨励費		950 万円
・放送・映像コース機材		317 万円
・人間科学テーマ研究		163 万円
・ハワイ大学語学研修		1,000 万円
◎委託費支出	8,411 万 4,244 円増額	
・新 3 号館清掃委託費増額分		1,200 万円
・5 号館解体		7,800 万円

【500 万円以上減額】

◎奨学費支出	2,246 万 5 千円減額	
・東日本大震災被災学生の授業料等減免額の減		2,500 万円
◎学生諸費支出	1,653 万 1,403 円減額	
・平成 22 年度卒業生の集い分の減少		1,150 万円
・課外活動補助金減額		500 万円

- iii) 管理経費 6 億 591 万 84 円は、前年度比 5,835 万 6,621 円減となりました。
前年度予算との増減が 500 万円を超えるものについて主な理由を報告します。

【500 万円以上増額】

◎雑費支出	1,109 万 6,070 円増額	
・鴨台会支部活動支援増額分		700 万円
・鴨台プロジェクトセンター関連		100 万円

・法人会議運営関係	125 万円
・固定資産税（仏教教育学園分）	75 万円

【500 万円以上減額】

◎光熱水費支出	670 万円減額	
・例年の執行状況を踏まえた減額（電気代 17%値上げ分織り込み済）		
◎印刷製本費	1,115 万 3,444 円減額	
・「鴨台」の同窓生配布分取り止めによる減額		220 万円
・「ボランティア報告書」発行完了による減額		612 万円
・大正大学出版会出版物の減額		320 万円
◎渉外費支出	941 万 6,552 円減額	
・90 周年勸募寄付者への記念品購入済による減額		1,200 万円
◎広告費支出	3,127 万 6,375 円減額	
・学生募集にかかる広告費 5%削減による減額が主なものです。		

- iv) 借入金等利息支出 1,000 万円は、新 5 号館建設に伴う借入金 10 億円の利息分です。
- v) 借入金等返済支出 2 億円は、新 5 号館建設に伴う借入金の年間返済金額です。
- vi) 施設関係支出 10 億 9,525 万 8,600 円は、前年度比 18 億 8,175 万 4,876 円減額となりました。
新 3 号館建設が前年度で完了したため大幅な減額となります。
- vii) 設備関係支出 1 億 2,975 万 9,040 円は、前年度比 5,267 万 6,684 円減額となり新 3 号館にかかる備品設置が前年度で完了したため大幅な減額となります。
- viii) 資産運用支出 10 億 9,860 万 9,000 円は、前年度比 7 億 2,729 万 7,762 円減額となりました。
この支出は、退職金、建築費、或いは社債満期元金償還金等を各引当特定預金・資産からの振替支出を行うものであり、学校の諸活動による実支出ではありません。
なお、第 3 号基本金引当資産については毎年 2,000 万円の積み上げを行っております。

その他の支出・予備費・資金支出調整勘定等の調整科目を加減した結果、次年度繰越支払資金は、13 億 3,027 万 7,864 円となり、前年度比 7,357 万 8,676 円増となりました。

以上、支出の部合計は収入の部合計と同額の 95 億 5,907 万 3,188 円となり、前年度比 3 億 3,540 万 835 円減となりました。

3. 消費収入の概要

帰属収入は、学校の負債とならない収入であり、資金収入の学生生徒等納付金から雑収入までを指し、金額も同額です。

各科目の帰属収入に対する割合は、次の通りです。

学生生徒等納付金 69.8%、手数料 2.5%、寄付金 17.0%、補助金 8.4%
資産運用収入 0.6%、事業収入 0.1%、雑収入 1.6%

帰属収入の部合計は、60 億 1,236 万 4,000 円。(前年度比 4 億 8,968 万 9,457 円増)

基本金組入額は7億5,601万7,640円のため、帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入の部合計は、52億5,634万6,360円となります。

4. 消費支出の概要

消費支出の部合計は、59億2,901万8,554円です（前年度比8億5,230万5,192円増）。

人件費は、27億5,117万9,074円で帰属収入比45.8%です。人件費帰属収入比率が50%を割っておりますが、これは90周年記念事業勧募の寄付金及び鴨台会（同窓会）からの寄付金による収入増の影響によるものです。

教育研究経費は、18億6,192万9,396円で帰属収入比31.0%です。

管理経費は、6億5,591万84円で帰属収入比10.9%です。

5. 消費収支差額

消費収入52億5,634万6,360円、消費支出59億2,901万8,554円であり、従って、6億7,267万2,194円の消費支出超過となりました。

6. 帰属収支差額

企業会計における損益計算書の経常損益に相当するもので、帰属収入—消費支出により算出されます。

帰属収入60億1,236万4,000円—消費支出59億2,901万8,554円=8,334万5,446円の黒字となりました。

7. 資金支出を伴わない支出

消費支出には資金を伴わない支出として「減価償却額」と「資産処分差額」があります。平成24年度は減価償却額6億円、資産処分差額6億円となり、合計12億円が資金支出を伴わない支出となります。

すなわち、平成24年度当初予算における資金余剰額は、

帰属収支差額8,334万5,446円+減価償却額6億円+資産処分差額6億円

=12億8,334万5,446円となります。

以 上